

あ い さ つ



教育長 佐藤 秀美

令和8年度教育要覧「福島市の教育」の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

皆様には日頃から本市教育行政の推進に格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

本市では、「ふるさとへの誇り 夢とあこがれ 心(ひとみ)かがやく ふくしまっ子」を基本目標として掲げ、学校教育の質の向上と学びの環境の充実を推進しております。

今年度は、学校のICT環境のさらなる充実のため、4月に児童生徒の1人1台端末をより入力・編集などの作業が容易となる機種に更新しました。この端末を効果的に活用することにより、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めてまいります。

4月に開設した中央学校給食センターでは、市内30校へ食物アレルギーにも対応し、安全で質の高い給食を1日約8,500食提供します。また、子育て世代の負担軽減のため、国の支援に本市独自の支援を加え、4月より市立小・中学校の児童生徒約1万7,000名の給食費の完全無償化を図りました。

児童生徒の障がいに応じた個別指導を行う通級指導は、昨年度より一部で導入していた巡回型の指導を、今年度からすべての通級指導教室で開始しました。指導を受ける児童生徒の学習時間の確保と保護者の送迎にかかる負担を軽減します。

肢体不自由等の児童生徒の学習支援については、学級がある福島第二小学校にエレベーターを新設するとともに、特別支援教育支援員の配置を拡充いたします。

学校施設においては、今年度より小・中学校の維持管理を一括で行う包括管理を導入し、民間を活用した効率的・効果的な修繕や保守管理、施設マネジメントにより、維持管理水準の向上を図ります。一方で、経年劣化が進む校舎外壁などの改修を順次進めるとともに、修繕が必要な学校プールは民間や公共プール施設等を活用し、水泳の授業の充実を図ります。

令和7年に創設したスクール・サポート企業登録制度には、多くの企業に登録いただいております。今後も学校と地域社会が連携して、多様な学びの機会等を提供してまいります。

本市教育委員会では、今後とも安全で安心して学ぶことができる魅力ある学校づくりを目指すとともに、市民一人一人が生涯にわたって生き生きと学べる学習機会の拡充と環境整備を推進してまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美